

金利と為替

令和5年12月8日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

金利の格差の是正は、適正な通貨水準への転換を実現できるものである。これら国際資本が、金利格差において、その流入と流出を有することを意味する。

経済への影響は、遥かに想像に勝るものである。産業構造の転換はこれら現実において存在するのである。

企業の高い利益性は、それら為替水準における結果である。それらは今日の現状である。

これらは世界における資本と国内資本の運用における新しい金融センターの整備を再度求めるものであり、金融政策とともに、自国の経済運営への新しい自己環境の整備は必ず要求されるものである。

これらは、デジタル通貨や経済システムへの移行とともに、新しい経済環境と金融環境への転換は不可避なのであり、これらへの政治の明確な理解とプレゼンスの構築は、現実への正しい対応に過ぎないのである。

これは資本と経済は密接に繋がっているためであり、経済政策と金融政策は新しい自己環境を基盤として未来を構築できるのである。

これらは世界における資本の国内への流入と正しいグローバル金融システムへの参加を構築することは、国内経済や企業がその健全なルールにおけるグローバル経済システムへの参加を実現できるのである。

これらは現状の双子の赤字は、国内企業の悪化ではないことを留意したい。現状のゼロ金利と円安は、輸出産業において、最高益を与える現実なのである。

他方においては、国家財政の悪化が存在する。これらは大胆な経済施策の転換や、金融政策の転換を基盤とした、正常化という判断を行うことは必要なはずである。これらはグローバル経済の変化への対応とともに、政治判断と新しい経済施策における解決を提案したいと考える。